



Obihiro Aoi Gakuen Information

学校法人 帯広葵学園

学園通信

◆2023年(令和5年)11月20日発行 ◆Vol.73

故きを温ねて、新しきを知る 《帯広葵学園のあしあと》

シンボルマークのこじり③

―帯広の森幼稚園―

学校法人帯広葵学園 理事長 上野敏郎

学園通信第72号で、平成10年4月1日に帯広の森幼稚園とつつじが丘幼稚園のシンボルマークが誕生したと書きましたが、これは間違いだった。ここで訂正させていただきたい。

この4月1日は、学校法人帯広源照学園の法人名が帯広葵学園に、葵幼稚園と葵南幼稚園を統合して帯広の森幼稚園に、葵西幼稚園がつつつじが丘幼稚園に名称変更した日であった。名称変更した両幼稚園のシンボルマークのお披露目はもっと後で、平成21年4月1日である。

さて、帯広の森幼稚園のシンボルマークの製作者はつつじが丘幼稚園と同じ奥野淳一先生(平成21年4月〜平成26年3月までつつじが丘幼稚園園長)である。奥野先生と帯広葵学園の縁は、奥野先生が市内中学校の校長先生であったときに二つの幼稚園のシンボルマークの製作をお願いしたことから始まったと言える。

そのシンボルマークの説明になるが、製作者の言を借りれば「帯広の森」に囲まれた環境の中で、大きな樹、鳥、先生に囲まれてのびのびとすこやかに育つ子どもたちのイメージをマーク化した」となる。

ところで、「帯広の森」は、昭和45年5月に開かれた「第二期帯広市総合計画策定審議会」の審議を経て打ち出された構想である。この構想を一口で言えば、帯広の市街地を私の記憶によれば幅200メートルのグリーンベルトで囲もうとする雄大なものであった。この構想は吉村博第5代帯広市長から始まる。当時の帯広は緑地の少ないまちだった。こんな背景を受けて、昭和50年6月1日、第一回帯広の森植樹祭がたくさんの市民が参加して実施されたのである。残念ながら、帯広のまちを緑で囲む夢はまだ実現していないが、「帯広の森幼稚園」はその縁たつぷりの中に悠然とたたずみ、子どもたちの成長を応援している。

認定こども園

帯広の森幼稚園

【シンボルマーク考案者】

奥野 淳一氏

1948年帯広市生まれ。帯広三条高、道教育大釧路校卒。十勝管内の小・中学校で勤務し、帯広第一中学校長で定年退職。つつじが丘幼稚園園長や市教委「心の教室」相談員を経て、2017年8月から帯広北高校を運営する帯広渡辺学園の理事を務めている。



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022
帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F
TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778
URL <https://www.obihiraaoi.ed.jp/>



帯広の森幼稚園



012おびもり



つつじが丘幼稚園



012 青い鳥保育園



緑陽台認定こども園



柳町認定こども園



駒場認定こども園



あおいキッズランド



東士狩保育所・南中音更保育所・西中音更保育所



あおいとり